

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年）

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 『現代社会と健康』 【知識及び技能】 現代社会と健康について理解を深めさせる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断させるとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について他者と協力しながら学ばせる。また、健康の保持増進を目指す姿勢を育む。	・指導事項 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 調べ学習『がん』 7 運動と健康 8 学期内容振り返り 9 期末テスト 10 運動と健康 ・教材 教科書 現代高等保健体育 補助プリント ・一人1台端末の活用 ・テーマごとのリアクションシートの活用 ・課題レポートの作成	【知識・技能】 健康の考え方、生活習慣病の予防とその回復について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	A 単元 『現代社会と健康』 【知識及び技能】 現代社会と健康について理解を深めさせる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断させるとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について他者と協力しながら学ばせる。また、健康の保持増進を目指す姿勢を育む。	・指導事項 1 食事と健康 2 休養・睡眠と健康 3 喫煙と健康 4 飲酒と健康 5 薬物乱用と健康 6 精神疾患の特徴 7 精神疾患の予防 8 精神疾患からの回復 9 現代の感染症 10 学期内容振り返り 11 期末テスト 12 感染症の予防 ・教材 教科書 現代高等保健体育 補助プリント 啓発動画視聴 ・一人1台端末の活用 ・テーマごとのリアクションシートの活用 ・課題レポートの作成	【知識・技能】 生活習慣病の予防とその回復、飲酒・喫煙・薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復、現代の感染症とその予防について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
2 学 期	A 単元 『現代社会と健康』 【知識及び技能】 現代社会と健康について理解を深めさせる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断させるとともに、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について他者と協力	・指導事項 1 性感染症・エイズとその予防 2 健康に関する意思決定・行動選択 3 健康に関する環境づくり 4 事故の現状と発生要因 5 安全な社会の形成 6 交通における安全 7 応急手当の意義とその基本 8 日常的な応急手当 9 心肺蘇生法 10 定期検査	① 健康の考え方、現代の感染症とその予防について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ② 安全な社会づくり、応急手当について、理解したことを言ったり書いたりしている。また、応急手当を適切にすることができる。 【思考・判断・表現】				

3 学 期	しながら学ばせる。また、健康の保持増進を目指さず姿勢を育む。 B 単元 『安全な社会生活』 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めさせ、救命救急の基本的な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、身につけた知識、技能を状況に応じて表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活について他者と協力しながら学ばせる。自他の命を大切にす姿勢を育む。	・教材 教科書 現代高等保健体育 補助プリント ・一人1 台端末の活用 ・テーマごとのリアクションシートの活用 ・応急手当の実技試験の実施 ・課題レポートの作成	① 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 ② 安全な社会生活における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。	○	○	○	9
			【主体的に学習に取り組む態度】 ① 現代社会と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ② 安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				合計 35